

みんなの 参加コーナー

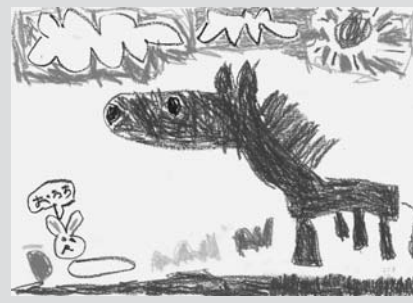
歴史散歩⁹⁸



逢妻駅 (高津波町1丁目)

昭和63年3月13日に開業しました。刈谷駅から西へ1.9kmの位置にあり、橋上式の駅舎で、相対式ホームです。駅名は刈谷市の西を境川と並行して流れる逢妻川の名に由来しています。逢妻川の名の由来は、むかし在原業平に恋い焦がれているかきつばた姫という女性があり、業平が自分の妻のところへ戻っていく後を追ひ、八橋を追い追いつきましたが、業平は朝廷を憚って川を隔てて会いました。そのため、その川を後世に逢妻川といい、それが逢妻川に変わったといわれています。

ギャラリー



「ポニーがきたよ」
刈谷幼稚園 5歳児
長坂 ころろちゃん
ようちえんに いどうどう
ぶつえんが きたよ。ポニー
のちゃんちゃんをみた
よ。うさぎさんに えさをあ
げたよ。

「わたしのそだてたおもい」
衣浦小学校 2年生
落合 香菜子さん

「わあー。こんなに大きなおも
いがとれた」育てたさつまいもがとれ
たうれしさを絵にしました。驚いた
顔がよく表現されています。



赤ちゃん登場



鈴木 凱斗くん(野田町)
(平成18年1月20日生まれ)
お父さん 喜政さん
お母さん 千余子さん

こんにちは！かいとです。麻友お姉
ちゃんと踊ったり、シーソーしたりす
るのが大好き！ママがかえろうってい
ってもかえらないよ。公園で会ったら
よろしくね！



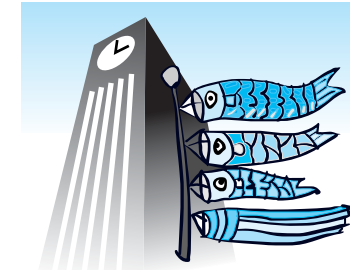
池田 麗奈ちゃん(東境町)
(平成18年3月22日生まれ)
お父さん 和也さん
お母さん 母里恵さん

れなでーす♥私には2人のお兄ちゃ
んがいるの！いつもお兄ちゃんたちを
困らせているのよ！どんなわんぱく
な？！女の子になるか楽しみにしてて
ネ♥



伊早坂歩実ちゃん(半城土町)
(平成18年5月8日生まれ)
お父さん 務さん
お母さん 賀子さん

こんにちは、あみです♥マイブーム
は、食べること！みお姉が食べる物は
私も食べなきゃ気がすまない!!ついつ
い手が出ちゃうのよネ♥くいしんぼ
うあみと呼ばれる私だけど、みんな仲
よくしてネ(^▽^)



ようこそ！うちの学校へ

小垣江小学校

「大好き小垣江小学校」 6年生 柘植 慶右くん

ほとくの通う小垣江小学校は、今年で創設100周年を迎える歴史のある小学校です。地域には、この学校を卒業した方がたくさん住んでいらっしゃいます。ほとくの祖父と母と兄も、この学校の卒業生です。そして、ほとくを含め、家族みんなは、小垣江小学校が大好きでとっても大切に思っています。

ほとくが小垣江小学校を好きな理由は、3つあります。1つ目の理由は、1年生から6年生までが仲良く遊べるからです。毎月ゼロのつく日には、「おはよう遊び」といって、朝登校したら、30分ぐらい運動場で通学団ごとに集まってみんなで遊ぶ時間があります。この時間をどの子どもとっても楽しみにしています。また、昨年度、児童会が開催した「長縄大会」では、兄弟学級で力を合わせて、とべた回数を学級ごとに競い合いました。どの学級も熱くなって盛り上がりました。

2つ目の理由は、部活動が盛んだからです。小垣江小学校には、4つの部活動があります。自転車部は、県の大会へ毎年出場しています。バ

スケットボール部やサッカー部も、市の大会で毎年上位に入賞しています。金管バンド部も、コンクールで金賞を受賞しました。どの部活動も、朝の練習と午後の練習を真剣に取り組んでいて、いいなあと感じています。

3つ目の理由は、学校の校訓が素敵だからです。「おがきえ」の4つの頭文字を取って、「(お)思いやりのある子」「(が)がんばりぬく子」「(き)きまりを守る子」「(え)笑顔を忘れない子」が校訓となっています。この校訓は、大人になっても忘れないように、卒業生の祖父と母と兄も、ちゃんと覚えています。すごいことだなあと感じています。

歴史ある小垣江小学校の100周年の記念すべき年に、ほとくは児童会長になることができました。学校の歴史に新しい1ページを書くことができるように、児童会が中心になって、いろいろな活動に取り組んでいきたいです。そして、今年予定されている100周年の記念式典を、地域の方達や先生方と力を合わせて、ほとくたち現役小学生も盛り上げていきたいと思っています。



▲みんなでジャンプ！

ありがとう

3月に退任した交通指導員の皆さん

石咲すみ枝さん(小高原小学校区)近藤靖子さん(富士松東小学校区)
小林恵子さん(かりがね小学校区) 榊原晴美さん(東刈谷小学校区)



▲左から石咲さん、近藤さん、小林さん、榊原さん

毎朝、通学路に立って子どもを見守る交通指導員さん。かつては「緑のおばさん」と呼ばれ、お世話になった人も多いことでしょう。さる3月、長い間子どもたちの安全を見守ってくださった4人の交通指導員さんが定年を迎え、引退されました。雨の日も風の日も、暑い日も寒い日も、毎日街頭に立つことはさぞかし辛かったことでしょう。

しかし、辛かったことを4人の皆さんにうかがうと、皆さん首をかしげながら「辛いことはあったかもしれないけれど…忘れちゃった(笑)」

辛いことを忘れてしまうのは、かわい子子どもたちとの交流のおかげだそう。彼らの純真さを見なが

ら、ああ、交通指導員をやって本当に良かったな、と毎日のように喜びをかみしめていたとか。

「児童会が中心になり、子どもたちが感謝の会を開いてくれたことが思い出に残っています。手作りの招待状は涙が出るほど嬉しかったですね。」「子どもたちが「寒くない?」と心配してカイロをくれたり、部活帰りの子が「こんな時間までいてくれたの?」と私を心配してくれたり、子どもたちの優しさに感動の連続でした。毎日続けられたのは、やさしい子どもたちに支えられていたからだと思います。」

指導員を引退するうえで心配なこととは、年々大人の交通マナーが悪く

なっていること。特に運転中に携帯電話を使うことは、飛び出しやすい子どもたちにとっては危険極まりないことで、見ているだけでハラハラするそうです。指導員さんの教えが無に帰すことのないよう、大人一人ひとりが気をつけねばなりませんね。

今後は運動や趣味などやってみたくがたくさんある、という皆さん。子どもたちからもらったパワーで、今後もいきいきと過ごされることでしょう。長い間本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。